



## メディポリス指宿通信 2022 年2月号

### 乳がん治療の再開について

乳がんの陽子線治療については、Phase I 試験(4 例実施)、Phase II 試験では 10 例を実施いたしました。

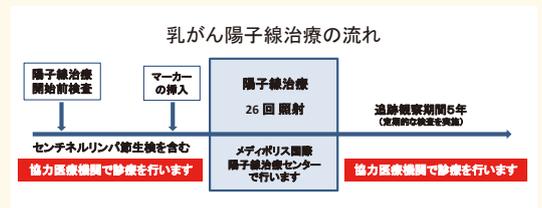
Phase II 試験では、「10 症例終了後に乳がん粒子線治療研究会にて報告ならびに審議し、この研究の整合性と妥当性について検証する」と定められており、当該研究会を 2021 年 7 月 29 日に実施いたしました。

その結果、有効性と安全性について問題ないと判断されました。今回、Phase II 試験では、症例数 20 例以上を予定しておりますので、残りの 10 例以上の募集を再開いたします。陽子線治療費用は、メディポリス医学研究所が負担しますが、陽子線治療以外の検査や診察費用等は、自由診療として患者さんご自身のご負担となります。

詳しくは、下記フリーダイヤルにお問合せ下さいませ。



0120-804-881

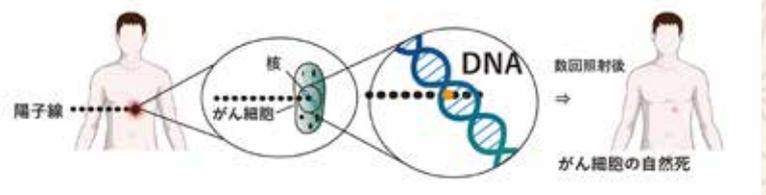
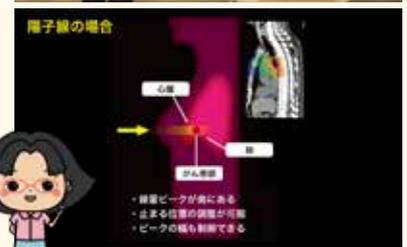


### 保険適用範囲広がりへの期待

先月、厚生労働省の先進医療会議で、切除できない肝内胆管がんや大型の肝細胞がんなどの粒子線治療は、従来療法より生存率の改善が明確に示されるなど「十分な科学的根拠がある」との見解がまとめられました。

この先進医療会議の見解をもとに中央社会保険医療協議会（中医協）が全額保険適用への移行を議論し、認められれば今年 4 月から、陽子線治療の公的医療保険範囲が拡大される見込みです。

現時点で、確定ではございませんが、今後さらなる治療選択の広がりが期待されます。



### お問い合わせ

一般社団法人 メディポリス医学研究所  
 メディポリス国際陽子線治療センター  
 〒891-0304 鹿児島県指宿市東方4423番地  
 【治療相談】 0120-804-881

### お知らせ



ホームページ

さまざまな SNS でメディポリスの情報を発信しております。QR コードを読み込んでいただき、是非ごらんになってください！



YouTube

Instagram・Facebook・LINE も更新しております！

## ■ がんと診断されたら？ ■

突然、「がん」と診断されると驚くし、慌てますよね。どのような治療をするのか？費用はいくらなのか？など不安なことが多いと思います。まずは、主治医の先生によく話を聞いて、どのような治療が良いのかしっかり理解することが大切です。

陽子線治療を検討される場合には、フリーダイヤルにお電話いただき、セカンドオピニオンを受けることをおすすめ致します。

### がんと診断されたら・・・

がんと診断され、治療選択について説明を受けたが決められない。

主治医の意見を別の角度からも検討したい。

がんと診断された。主治医から説明を受けたが診断について別の医師の意見を聞きたい。

再発の診断を受けたが、主治医が提示する以外にも治療の選択肢がなにかを知りたい。

### セカンドオピニオンを迷われる方

セカンドオピニオンを受けて、主治医以外の医師に意見をもらうことができます。セカンドオピニオンを受けた病院で必ずしも、治療をする必要はありません。ご自身で最善の治療を選択することが大切。

がん治療を受ける前に、少しでも迷う事があれば、セカンドオピニオンを思い出して下さい。主治医に遠慮する事はありません。一番大事なのは、自分自身の選択です。

### セカンドオピニオンまでのながれ

- ① フリーダイヤルへ電話 (近くのオフィスで相談)
- ② 資料を準備 (診療情報提供書・検査データ)
- ③ 資料を郵送 (面談の日程調整)
- ④ セカンドオピニオン

[当センターでの治療を選択した場合、そのまま日程調整可能]

## ■ メディポリスよもやま話 [その⑨・こだわりの治療選択と△の爪]

休日よく行く温泉からの帰り道、カーラジオでシンガーソングライターの福山雅治さんが、ギター演奏について話していました。「どんなピック (弦を弾く道具) や補強ネイルも生爪に勝る音色は出せない」それを聞いてひとりの患者さんが頭に浮かびました。

昭和一桁生まれのTさんは2012年1月に関東地方から治療に来られた。当時現役の医師で家族と共に病院を運営していた。

Tさんのがんは一時はリンパ節転移があるステージⅣの状態だったが、諸治療により転移病巣は消失し、陽子線治療の適応となった。関東にも陽子線治療施設はあるが、生検 (針でがんの組織を採取する検査) で組織型を明確にする必要があり、実施するリスクと組織型が分かるメリットを勘案して生検を避ける方法を探していたらしい。治療前の診察では、生検をしないデメリットやがんの細胞死について担当医と時間をかけて議論を交わし、効果が見込めるという結論で合意した。

さて初対面の時、Tさんの指先に目が留まる。右手の指は全て爪先を尖らせた形で、爪の表面はピカピカツルツルで丁寧な手入れ具合がうかがえる指先だった。もちろんギターを奏でるための指！ピックを自前で装備している！Tさんは確か外科医だったような…。年齢や病状から考えるにフル勤務ではないにしても、これで仕事をするのは大変だし、日常生活でさえかなり気を遣うだろう。治療期間中、隣接するホテルのTさんの部屋からはギターとウクレレの音色が毎日のように流れていたようだ。

治療方針の選択にしても、仕事や身体の管理にしても、従来の常識を自身の身体の状態や信念に落とし込み、納得できる道を探すTさんの人生観に畏敬の念を抱きつつ、常人にはとても真似のできない信念の強さを感じたことを思い出しました。治療後5年の経過観察を元気に終えられたTさん。今日もどこかでギターを弾いていらっしゃるでしょうね。

## ■ 治療症例実績数 4689 件

・前立腺	2234	・睪	308	・骨軟部	108	・乳がんの術後照射 (外国人含む)	3
・肝・胆管	685	・転移 (リンパ節)	316	・腎	28	・早期乳がんの非手術治療	13
・肺	614	・頭頸部	208	・その他	172		

(2022年1月14日現在)